

1:現状の課題(内部要因・外部要因)ならびに今後における方向性について

2022年度においては、前年度より引き続き、新型コロナウイルスの感染対応に苦慮する一年間となった。法人内においても、各拠点においてクラスター感染が発生、運営面・経営面において多大な影響を受けた。一方、「感染対策ミーティング」を軸とし、抗原検査・PCR検査を徹底できる体制の確保、「KERT」の運用開始など、グループおよび法人独自の対策ノウハウを確立した。

千代田区にて新たな事業「いきいきプラザ一番町」の指定管理者に選定された一方、既存の指定管理事業である、渋谷区「つばめの里・本町東」、墨田区「いきいきプラザ」において、次期指定管理者に選定されず、2023年度以降における事業の開廃を余儀なくされる状況となった。2022年9月1日より「千代田区いきいきプラザ一番町」開設準備室の設置し、「つばめの里・本町東」からの職員の異動を主軸とした、千代田区事業における新たな組織構築に向けて準備を進めている。

内部組織体制については、法人規模の拡大や前述の事業開廃の流れを受け、事業部長の交代・新たな次長職の選任といった組織改編を段階的に実施し、次年度以降の体制づくりを進めている。次年度以降、「千代田区いきいきプラザ一番町」の事業開始、グループ法人によるオンライン診療の本格稼働、グループ内法人合併に向けた準備といった新たなチャレンジが続く。これらを実現するため、基盤となる組織体制の確立と健全な財務状況の構築をすすめていきたい。

2:施設重点目標(法人事業計画に基づく各拠点の活動方針)

(1)定性目標(状態目標・水準目標・活動目標・結果目標)

□運営体制の視点□

- 組織力の強化と人材育成・人材確保の推進
 - ・プリセプター制度の定着化と人材育成
 - ・法人としての中途採用育成の仕組み構築
 - ・人材定着への取り組み
 - ・長く働き続けられる組織づくり:福利厚生制度の充実・多様な働き方の創出
- 大規模災害・感染症対策への対応(BCPの組織への浸透化)
 - ・BCP策定委員会による体制の構築と各拠点への仕組みの浸透化
- 稼働管理体制の継続による黒字体質の維持
 - ・地域特性に応じた営業体制の確立(営業推進担当責任者による推進・プロセスの確立)
 - ・KPI管理による施設稼働管理の継続
 - ・生活相談員の育成強化
- 同一エリア内法人との人的・物的資源の連携:グループ内法人合併を見据えた体制づくり

□提供サービスの視点□

- オンライン診療を有効活用した医療的ケア体制の構築
- 入所部門における看取りケアへの継続的取り組み
 - ・多職種連携による口腔、リハビリ、栄養ケアの一体的な提供
 - ・連携病院・訪問診療医療機関との関係づくり
- 通所部門における「認知症予防運動プログラム」の推進・「アウトカム評価」への展開
- 母子支援施設における ケース多様化への対応
 - ・医療連携・助産師連携による周産期支援体制の強化
 - ・緊急一時への即時対応
 - ・支援対象エリアの拡大
- アフターコロナにおけるイベント・食事・交流活動における創意工夫

□成長発展・事業拡大の視点□

- 新規事業へのアプローチ
 - ・近隣地域における公募状況確認の継続
 - (民設民営による開設事案の開拓/ニーズに応じ、信頼関係のある行政区での指定管理事業の展開)
- ICT、リモート、AI、介護ロボット等を活用した業務改善の推進
 - ・WEB会議システムを活用した「Web施設見学」や居宅介護支援事業所等との情報共有の推進
 - ・次世代技術を活用した設備・備品の導入に向けた模索・検証

□財務の視点□

●キャッシュフローの改善

- ・月末預金残高について、国保連請求額の2～3ヶ月分確保を指標とする
- ・未回収の売上債権の削減 ・無駄のない在庫管理とスケールメリットを活かした価格交渉

●修繕資金の確保

- ・キャッシュフロー改善による修繕積立金の確保 ・長期修繕計画の整備

●債務上限について ・純資産比率40%・負債総額が年商を上回る水準を目指す

(2) 定量目標

① 損益計画(単位:千円)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計/平均 |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 売上高 | 406,902 | 417,817 | 407,436 | 417,808 | 418,576 | 408,268 | 418,841 | 408,662 | 419,058 | 418,553 | 395,861 | 419,723 | 4,957,505 |
| 人件費 | 244,764 | 248,516 | 247,342 | 246,474 | 243,860 | 243,734 | 243,024 | 242,500 | 241,666 | 240,541 | 239,329 | 238,936 | 2,920,680 |
| (人件費率) | 60.2% | 59.5% | 60.7% | 59.0% | 58.3% | 59.7% | 58.0% | 59.3% | 57.7% | 57.5% | 60.5% | 56.9% | 58.9% |
| 経費 | 168,197 | 160,863 | 158,910 | 162,709 | 163,089 | 158,823 | 166,620 | 160,776 | 162,284 | 160,746 | 157,444 | 163,184 | 1,943,639 |
| 経常利益 | -6,058 | 8,439 | 1,185 | 8,626 | 11,628 | 5,712 | 9,198 | 5,387 | 15,109 | 17,267 | -911 | 17,604 | 93,186 |

(3) 目標達成計画(アクション・プラン)

| 実施時期 | (参考)サービスレベル 月別テーマ | 主な実施内容 研修企画・イベント・営業活動・その他 事業目標達成に向けた活動計画について | 実施に必要な資源等 (人材・物資・予算等) |
|------|----------------------|--|--------------------------|
| 4月 | 車両交通安全 | 入職式・入職者研修 | |
| 5月 | 感染症対策 | ビジネスプラン・ミーティング | |
| 6月 | 防犯対策 | 定時理事会・評議員会(決算) | |
| 7月 | 事故対策 | (予定)こやまケア内部監査(上期) | |
| 8月 | 身体拘束・虐待防止 | (予定)こやまケア法人間監査 | |
| 9月 | 医療との連携/採用(新卒) | 職員異動意向調査 新入職員フォローアップ研修・人事考課(上期) | |
| 10月 | 感染症・食中毒の予防 | 内定式・法人間財務相互監査 フレッシュヤーズ・フェス | |
| 11月 | 感染症対策(前月研修をもとに対策を報告) | グロースプラン・ミーティング 法人間財務相互監査報告会 | |
| 12月 | 経費見直し | | |
| 1月 | 離職防止対策/採用(中途) | | |
| 2月 | 身体拘束・虐待防止 | (予定)こやまケア内部監査(下期) | |
| 3月 | 接遇 | 定時理事会・評議員会(予算) 人事考課(下期) | |
| その他 | | | |

(4) 内部コミュニケーション(会議・プロジェクト・ミーティング)

| | 委員会・会議 | 開催日 | 活動内容・今年度の重点活動目標 |
|-----------|-------------|--------------|--|
| 会議・プロジェクト | 法人(施設)運営会議 | 月1回(毎月18日前後) | 各拠点責任者、法人管理部門責任者による情報共有と必要事項の伝達 現状の各拠点・法人の課題の抽出と対応策検討 |
| | 新卒採用プロジェクト | 毎月月末実施 | 採用担当、事業部長、法人本部(財務担当、人事担当)職員、特養副施設長、施設広報 が参加し、採用進捗の確認、企画・立案等の意見交換を実施 |
| | 研修教育プロジェクト | 毎週金曜日 | 教育研修担当、採用担当、施設長及び、拠点の育成メンバーが参画し、職員受け入れ にあたっての研修企画の立案や意見交換、進捗確認を実施 |
| ミーティング | 本部定例ミーティング | 毎週火曜日 | 法人本部各部門の取組進捗の確認、課題の抽出と対応策検討 |
| | 人事部ミーティング | 隔週月曜日 | 人事部所管業務に関する進捗状況の確認、課題の抽出と対応策検討 |
| | 経理担当者会議 | 第4火曜日 | 各拠点経理担当による月次分析、情報共有、必要事項の伝達、各拠点・法人にて抱える 経理上の課題の抽出と対応策検討 |
| | 労務担当者ミーティング | 月1回程度 | 各拠点の労務担当者との情報共有と必要事項の伝達、 各拠点・法人にて抱える労務管理上の課題の抽出と対応策検討 |
| | 広報担当者会議 | 毎週月曜日 | 広報担当者による広報計画の進捗確認、情報共有、必要事項の伝達、各拠点・法人にて 抱える公法上の課題の抽出と対応策検討 |
| | 施設長ミーティング | 毎日 | 各拠点施設長による情報共通と必要事項の伝達。課題の共有と検討。 |

拠点別 事業計画

作成者 施設長 石川 理加

1:現状の課題(内部要因・外部要因)ならびに今後における方向性について

2022(令和4)年度1月特養・ショートステイにおいてコロナ陽性者発生(クラスター)ショートステイについてはワンユニット閉鎖を行い稼働と共に売上減収となったが感染症対策強化を継続した事により最低限に留め拡大を防いだ。オープン後のリカバーも順調に推移している中で。148床全体の稼働コントロール・予算達成に向けた実績管理への取り組み。今期WithコロナからAfterコロナに向けてコロナ禍以前の営業利益を過去の水準の利益に持ち込む為に感染症対策に同額程度経費を要するものと推測し、コスト削減・見直しを継続的に実施し感染症発症・入院を抑え地道な訪問営業を重ね安定した定員確保・収支改善に取り組む。又ガバナンス強化の視点から柔軟な発想・行動力を養い組織の活性化を図り、実効性の有る統制された組織に向けた運用を目標とする。

2:施設重点目標(法人事業計画に基づく各拠点の活動方針)

(1)定性目標(状態目標・水準目標・活動目標・結果目標)

「人を生かし人を育てる」～組織人として公正で且つ責任の有る行動をとる

サービスの価値を最大限に引き出せる支援を目指す

(1) 運営・運用の効率化(適正な収入・適正な支出)

・安定した定員確保→稼働率(TY)98%以上(SS)100%(GH)100%キープ・稼働率維持に向けたサービス内容の再編(マンネリ打破)

・地域ネットワークの構築→開かれた施設として共生に向けた取組み・ステークホルダーへの情報開示

(2) 人事・労働環境の整備・職員育成システム・職場文化の構築及び運用

・「傾聴」「受容」を基本にコミュニケーションスキル向上への取組み

・働き易い労働環境整備を行い離職率低減

・人材定着を図り顧客満足充足に向けた職場環境の構築(常にワンランク上の仕事を心がけプロ意識を定着)

・メンタルヘルスクアを含む安全衛生管理強化(フォロー体制構築)ストレスチェックの活用

(3) 組織運営の健全化(虐待・不適切ケアゼロ)

・介護理念・組織の方針を明確にし職員で共有し各々の職責・職種による責任・役割の明確化

・業務の目的・構造・具体的な流れを見直し他社の目を通し開かれた組織に改編。

(4) コンプライアンスの徹底(事故ゼロに向けたマニュアルの再整備)

・関係法令・諸規程・社会的ルールを遵守し事故・不祥事防止の徹底。・迅速な初期対応の設定

・検証・事実確認による推測の排除・事故原因の究明と対策の設定

早期発見の視点を大切にし、入院者の軽減を図る。家族の気持ちに寄り添った看取りの実施を目指す。

(5) ガバナンス強化(実効性の有る統制された組織強化)・柔軟な発想・行動力を持ち組織の活性化を図り公正且つ適正な運営を実現

(6) サービス質の向上・人材育成

・研修制度を活用し専門職としての誇りと自覚を持ち知識・技術向上・研鑽に励み質の高いサービスの実現を目指す

・人材育成(中核となる管理職・リーダー候補育成)・コミュニケーションスキルを高め冷静・沈着な目標設定と行動の実現

■ 予算達成に向けた実績管理

1. 目標稼働達成に向けたアクションプランをベースに基礎データ把握し一次・二次目標を中長期的に作成し収支目標必達

■ 目標達成の為のKPI

1. ロングショート入所11名

2. ロングショート待機者5名

3. 実態調査3名確保

※特養退所から入所迄のリードタイムゼロの実現

(2) 定量目標

① 損益計画(単位:千円)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 売上高 | 68,465 | 70,734 | 68,465 | 70,734 | 70,734 | 68,465 | 70,734 | 68,465 | 70,734 | 70,734 | 63,927 | 70,984 | 833,175 |
| 人件費 | 44,427 | 44,542 | 44,163 | 43,806 | 43,450 | 43,128 | 42,806 | 42,484 | 42,162 | 41,840 | 41,518 | 41,189 | 515,515 |
| (人件費率) | 64.9% | 63.0% | 64.5% | 61.9% | 61.4% | 63.0% | 60.5% | 62.1% | 59.6% | 59.2% | 64.9% | 58.0% | 61.9% |
| 経費 | 23,994 | 24,795 | 24,080 | 25,492 | 24,774 | 24,515 | 24,154 | 26,312 | 24,959 | 24,743 | 24,179 | 25,544 | 297,541 |
| 経常利益 | 44 | 1,397 | 222 | 1,436 | 2,510 | 822 | 3,774 | -331 | 3,613 | 4,151 | -1,770 | 4,251 | 20,119 |

(3)目標達成計画(アクション・プラン)

| 実施時期 | (参考)サービスレベル 月別テーマ | 主な実施内容 研修企画・イベント・営業活動・その他 事業目標達成に向けた活動計画について | 実施に必要な資源等 (人材・物資・予算等) |
|------|--------------------------|--|--------------------------|
| 4月 | 車両交通安全 | 花見 | ユニットごと 0円 |
| 5月 | 感染症対策 | 端午の節句 | ユニットごと 10,000円 |
| 6月 | 防犯対策 | ボランティアイベント | 全事業所対象 3,000円 |
| 7月 | 事故対策 | 七夕 | 全事業所対象 5,000円 |
| 8月 | 身体拘束・虐待防止 | 亀島祭 | 全事業所対象・地域合同 |
| 9月 | 医療との連携 | 敬老会 | 全事業所対象 100,000円 |
| 10月 | 感染症・食中毒の予防 | 運動会 | 全事業所対象 10,000円 |
| 11月 | 感染症対策(前月研修をもとに対 策を報告) | 音楽祭・作品展 | 全事業所対象 20,000円 |
| 12月 | 離職防止対策 | クリスマス会 | 全事業所対象 50,000円 |
| 1月 | 経費見直し | 新年会 | 全事業所対象 50,000円 |
| 2月 | 身体拘束・虐待防止 | 節分 | 全事業所対象 10,000円 |
| 3月 | 接遇 | ひな祭り | 全事業所対象 10,000円 |
| その他 | | | |

(4)内部コミュニケーション(委員会・会議)

| | 委員会・会議 | 開催日 | 活動内容・今年度の重点活動目標 |
|-----|----------------|--------|--|
| 委員会 | 事故対策検討委員会 | 第2週金曜日 | 事故対策についての検討・対応・周知、事故・インシデントの統計分析 |
| | 苦情対策検討委員会 | 第4週金曜日 | 要望・苦情に基づくサービス改善の検討 |
| | 感染症対策委員会 | 第4週金曜日 | 感染症対策研修(年2回)の企画と実施、マニュアルの見直し等 |
| | 虐待防止・身体拘束廃止委員会 | 第2週金曜日 | 身体拘束防止に関する啓蒙活動(研修)、「虐待の芽チェック」実施と集計 |
| | 褥瘡対策委員会 | 第3週金曜日 | 褥瘡予防、発症者の状況確認・評価、マットレスの選定、評価 |
| | 給食委員会 | 第3週金曜日 | 食事提供に関する全般 |
| | こやまケア委員会 | 第4週金曜日 | ケアに関する啓蒙活動・研修企画、顧客アンケートの実施 チームケア学会の準備 |
| | 防災委員会 | 第1週金曜日 | 防災訓練の計画と実施、防災に関する啓蒙活動 |
| | 行事委員会 | 第1週金曜日 | 年間の施設行事の企画と運営 |
| | 広報委員会 | 第1週金曜日 | 広報誌作成・施設ホームページ(ブログ)更新等 |
| 会議 | 衛生委員会 | 第3週水曜日 | 職員の健康管理と安全衛生について産業医をはじめとした委員会 |
| | 運営会議 | 第4週水曜日 | 施設の財政状況、人員配置、研修、会議内容の共有と方向性を話し合う |
| | リーダー会議 | 第4週水曜日 | 運営会議で決定したことを介護職員に伝えたり、問題解決のために話し合い |
| | 実務者会議 | 毎週月曜日 | 専門職による情報共有、問題可決のための話し合い、各自業務連絡、研修、会議の共有 |

1:現状の課題(内部要因・外部要因)ならびに今後における方向性について

2022年度はコロナ感染の影響を受け、下期においては複数のご利用者・職員が感染してしまった事により、ショートステイは5か月間に渡り受入れの中止やキャンセルを受け入れざるを得ない状況が続いてしまった。その事で目標稼働を大幅に下回り、目標未達となってしまった。

特養については退所後の空床期間(リードタイム)のない入所案内を継続できていることやご利用者の健康管理や入退院支援が円滑に実行できたことで安定した稼働を維持することができた。

本年はコロナが2類から5類になることを踏まえつつ、引き続き感染予防・拡大防止に努めた上で安定した運営を行っていただける状況が整うかが重要となる。一方で、介護職員等の定着については、離職による職員の入れ替わりや人材紹介による人件費のコスト高が課題となっており、組織として人材育成と採用力の強化が、引き続きの課題となっている。

地域最大規模を誇るショートステイ事業所として安定稼働を目指し、最期までその方らしい生活を送ることができるよう自立支援の実現に向けて安定した稼働を目指し、地域における要介護高齢者のニーズに応えることができる拠点事業所としてさらに成長していきたい。

2:施設重点目標(法人事業計画に基づく各拠点の活動方針)

(1)定性目標(状態目標・水準目標・活動目標・結果目標)

- ①個性を大切にその方が望む生活を実現する。
 - ・ニーズをとらえ、家族参加を促し、更なるサービス担当者会議の充実を図る。
 - ・看取り介護実践の振り返りカンファレンスを実践。
 - ・配置医、往診医との連携を図り、お客様の負担の少ない医療的ケア体制を目指す。
- ②年間イベント及びユニット企画(行事等)
 - ・施設全体のイベントを感染状況を鑑みながら再開し、ユニットリーダーを中心としたユニット企画を強化・活発に実施する。
- ③コンプライアンスの徹底
- ④感染症・災害に強い施設づくり
 - ・大規模災害や平塚エリアで想定できる水害対策・BCPの作成運用
 - ・新たな感染症への対策も含め施設としてのスタンダードプリコーション体制の構築。
- ⑤開かれた施設づくり
 - ・ボランティアや見学者、実習生の積極的受け入れを再開し、ホームページを活かした活動を継続していく。

《定量目標達成の為のKPI》

- 1.ロングショート入所者20名・・・退所から入所までのリードタイムゼロの継続
- 2.ロングショート待機者2名・・・ロングショートの本入所・入院等による稼働低下リスクを担保
(ロングショート入所者及び待機者とは入退所審査会完了者)
- 3.実態調査の予約5名確保・・・ロングショート待機者のSS入所リードタイムゼロ

(2)定量目標

①損益計画(単位:千円)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計/平均 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 売上高 | 72,110 | 74,510 | 72,110 | 74,510 | 74,510 | 72,110 | 74,510 | 72,110 | 74,510 | 74,510 | 69,710 | 74,510 | 879,720 |
| 人件費 | 47,270 | 47,480 | 47,002 | 46,535 | 46,076 | 45,627 | 45,186 | 44,763 | 44,337 | 43,929 | 43,521 | 42,999 | 544,725 |
| (人件費率) | 65.6% | 63.7% | 65.2% | 62.5% | 61.8% | 63.3% | 60.6% | 62.1% | 59.5% | 59.0% | 62.4% | 57.7% | 61.9% |
| 経費 | 25,636 | 27,122 | 26,530 | 28,317 | 27,073 | 25,940 | 27,428 | 25,917 | 26,597 | 27,330 | 25,858 | 25,982 | 319,730 |
| 経常利益 | -796 | -92 | -1,422 | -342 | 1,361 | 543 | 1,896 | 1,430 | 3,576 | 3,251 | 331 | 5,529 | 15,265 |

(3)目標達成計画(アクション・プラン)

| 実施時期 | (参考)サービスレベル 月別テーマ | 主な実施内容 研修企画・イベント・営業活動・その他 事業目標達成に向けた活動計画について | 実施に必要な資源等 (人材・物資・予算等) |
|------|-----------------------|--|--------------------------|
| 4月 | 車両交通安全 | 職員交通安全強化月間 ユニットレク・イベント | 安全運転のための点検強化 |
| 5月 | 感染症対策 | 感染症対応シュミレーション訓練 ユニットレク・イベント | 衛生用品物資の確認、必要在庫補充 |
| 6月 | 防犯対策 | 水害避難訓練 ユニットレク・イベント (行事食) | |
| 7月 | 事故対策 | ユニットレク・イベント (七夕) | 送迎車とドライバー調整 |
| 8月 | 身体拘束・虐待防止 | 水害避難訓練 ユニットレク・イベント (ソフトクリーム) | 給食委託業者とのイベント連携 |
| 9月 | 医療との連携 | 待機者の整理 (郵送調査) カメラ祭り・ユニットレク・イベント (敬老会) | 給食委託業者とのイベント連携 |
| 10月 | 感染症・食中毒の予防 | 防災訓練(救命救急講習) ユニットレク・イベント (ハロウィン) | |
| 11月 | 感染症対策 (前月研修をもとに対策を報告) | 感染症対応シュミレーション訓練 ユニットレク・イベント (行事食: 秋の味覚) | 給食委託業者とのイベント連携 |
| 12月 | 離職防止対策 | 防災訓練 ユニットレク・イベント (クリスマス会) | 平塚消防署依頼 非常食の使用方法について |
| 1月 | 経費見直し | ユニットレク・イベント (行事食: お正月料理) | 給食委託業者とのイベント連携 |
| 2月 | 身体拘束・虐待防止 | 防災訓練・災害時シュミレーション訓練 ユニットレク・イベント (バレンタイン) | |
| 3月 | 接遇 | ユニットレク・イベント (行事食: ひな祭り) 待機者の整理 (郵送調査) | 給食委託業者とのイベント連携 |
| その他 | | ・特養入所申込案内を目的とした病院等への営業の継続 ・特養見学、入所相談対応をWEB等で対応 | |

(4)内部コミュニケーション(委員会・会議)

| | 委員会・会議 | 開催日 | 活動内容・今年度の重点活動目標 |
|-----|----------------|---------|--|
| 委員会 | 事故対策検討委員会 | 第2週月曜日 | 事故対策についての検討・対応・周知、事故・インシデントの統計分析 |
| | 苦情対策検討委員会 | 毎週木曜日 | 苦情相談受付担当者からの報告事項を会議体で共有。満足度向上への分析。 |
| | 感染症・褥瘡対策委員会 | 第4週木曜日 | 感染症対策についての啓蒙活動(年2回の研修実施)。マニュアルの見直しと適正適用、感染症発生時の対応物品の準備 褥瘡発生時の対応検討・実行、褥瘡予防についての勉強会 |
| | 虐待防止・身体拘束廃止委員会 | 第3週月曜日 | 虐待防止のため研修又は啓蒙活動を行う 身体拘束ゼロについての検討、啓蒙活動(研修) 例外三原則の対象者についてのみ検討を行う |
| | 給食委員会 | 第2週水曜日 | 給食、補食に関する全般・個別の検討 ユニット内キッチン及び冷蔵庫の定期チェック イベント食検討 |
| | こやまケア・研修委員会 | 第3週水曜日 | ケアに関する啓蒙活動・研修企画、顧客アンケートの実施 チームケア学会の準備、介護技術の伝達および職員の実施のチェック (個人評価表、法人間・法人内監査、研修の有効性の評価等) 年間研修計画の作成、周知、実行 |
| | 防災委員会 | 第1週火曜日 | 防災・自然災害訓練計画実施、防犯意識の向上に向けた啓蒙活動 |
| | 行事・広報委員会 | 第4週水曜日 | 年間の施設行事の企画と実行、施設ブログの更新・管理 |
| | 衛生委員会 | 木曜日/月1回 | 産業医との職員健康相談。職場巡視。 |
| 会議 | 運営会議 | 1回/月 | 施設運営、経営課題の協議 |
| | リーダー会議 | 1回/月 | 全ユニットリーダー、専門職その他の会議 |
| | 実務者会議 | 毎週木曜日 | 毎週1回の業務調整会議 (各部署から参加) |

1:現状の課題(内部要因・外部要因)ならびに今後における方向性について

昨年度に引き続き、新型コロナの影響により、面会制限・外部事業者の立ち入り制限を行わざるを得ない状況の中で、タブレットを使用した面会・ガラス越し面会の実施により、ご利用者とご家族の精神面での安定を図りながら、「水際で陽性者を食い止める」「一人の陽性者から拡げない」というスローガンのもと、感染対策の徹底を図ってきた。しかし、8月・12月に施設内クラスターとなりショートステイの受け入れ制限、面会の一時中止など、運営の面・ケアの提供の面でも大きな影響を及ぼした。外部要因としては、施設が充足している状況は変わりなく、数多くの施設の中から選ばれる施設として適正な職員配置とケアの質を上げることが重要である。引き続き、地域協力病院との連携を軸に、入院者の減少を図り、キー・パフォーマンスインデックスを明確にしながらか高稼働の維持と「働くことにやりがいを持てる職場形成」に着目した取り組みを加速していくことを課題としたい。

2:施設重点目標(法人事業計画に基づく各拠点の活動方針)

(1)定性目標(状態目標・水準目標・活動目標・結果目標)

- ①喜びと感動を感じて頂ける食の提供
食べることへの喜びを感じて頂く食の提供を実現する。(行事食12回以上)
- ②年間イベント及びユニット企画・実行
新型コロナの第2類から第5類への移行を考慮し、ユニット・フロア・施設全体のイベントについて適切な判断のもと実施。
- ③クラブ活動
お客様の趣味・余暇活動としてクラブ活動や文化活動を積極的に実施する。
- ④健康管理
医師・看護師・介護職・管理栄養士・セラピストが連携し、健康管理カンファレンスの徹底
- ⑤全床配置の「眠りスキャン」の活用。
- ⑥看取体制の強化
看取りカンファレンスの適切な開催。ご家族と共にご利用者の最期に寄り添った対応を行う。
- ⑦夜勤看護師配置体制
医療依存度の高い方の受け入れ。介護職員の離職防止。
ご家族ご利用者の安心安全の確保。
- ⑧教育・育成
入職職員個々の教育プログラムの作成・各職種によりオリエンテーション、および定期的な面談によるメンタルフォロー。
新卒・無資格・未経験者や外国人職員にも対応できるマニュアルの活用。

《定量目標達成の為のKPI》

- 1.ロングショート入所希望者12名・・・退所から入所までのリードタイムゼロの継続
 - 2.ロングショート希望待機者3名・・・ロングショートの本入所・入院等による稼働低下リスクを担保
(ロングショート入所者及び待機者とは入退所審査会完了者)
 - 3.実態調査の予約3名確保・・・ロングショート待機者のSS入所リードタイムゼロ
- *今後の新型コロナの感染状況をふまえながら感染対策の継続し、社会的資源の活用・地域のニーズを鑑み対応する。

(2)定量目標

①損益計画(単位:千円)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計/平均 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 売上高 | 74,855 | 77,375 | 74,855 | 77,375 | 77,375 | 74,855 | 77,375 | 74,855 | 77,375 | 77,375 | 72,385 | 77,375 | 913,430 |
| 人件費 | 45,360 | 47,670 | 47,313 | 47,210 | 46,597 | 47,057 | 47,057 | 47,364 | 47,364 | 47,212 | 46,812 | 47,226 | 564,242 |
| (人件費率) | 60.6% | 61.6% | 63.2% | 61.0% | 60.2% | 62.9% | 60.8% | 63.3% | 61.2% | 61.0% | 64.7% | 61.0% | 61.8% |
| 経費 | 28,494 | 26,931 | 26,207 | 26,636 | 28,272 | 26,317 | 27,120 | 25,892 | 27,668 | 26,620 | 24,790 | 26,058 | 321,005 |
| 経常利益 | 1,001 | 2,774 | 1,335 | 3,529 | 2,506 | 1,481 | 3,198 | 1,599 | 2,343 | 3,543 | 783 | 4,091 | 28,183 |

(3)目標達成計画(アクション・プラン)

| 実施時期 | (参考)サービスレベル 月別テーマ | 主な実施内容 研修企画・イベント・営業活動・その他 事業目標達成に向けた活動計画について | 実施に必要な資源等 (人材・物資・予算等) |
|------|--------------------------|--|--------------------------|
| 4月 | 車両交通安全 | 送迎について、安全に移送するためのドライバー教育 運転前のアルコールチェック 職業倫理について | 管理課 |
| 5月 | 感染症対策 | 全職員対象に「食中毒の予防」について内部研修(2日 間)で実施 | 感染症委員会主催 |
| 6月 | 防犯対策 | 施設の防犯について、セキュリティ対策の確認と見直し を行う 心と体の健康について取り組む月間 | 栄養課主催 |
| 7月 | 事故対策 | 全職員対象に事故の再発防止について内部研修(2日 間)で実施 | 事故防止委員会主催 |
| 8月 | 身体拘束・虐待防止 | 自分のケアを振り返り、高齢者に対する適切なケアにつ いて内部研修で実施 | こやまケア委員会主催 |
| 9月 | 医療との連携 | 褥瘡予防や緊急時の対応を身に付ける | 感染症委員会主催 |
| 10月 | 感染症・食中毒の予防 | 感染症について内部研修(2日間)で実施 | 感染症委員会主催 |
| 11月 | 感染症対策(前月研修をもとに対 策を報告) | 全職員対象に事故の再発防止について内部研修(2日 間)で実施 | 事故防止委員会主催 |
| 12月 | 離職防止対策 | 認知症の方の理解を深める月間 (高齢者虐待防止含む) | |
| 1月 | 経費見直し | 終末期を考えケアの見直しを行う月間 | 看取りプロジェクト |
| 2月 | 身体拘束・虐待防止 | 全職員対象に身体拘束・虐待防止について内部研修(2 日間)で実施 | こやまケア委員会主催 |
| 3月 | 接遇 | 全職員対象に接遇について内部研修(2日間)で実施 | 介護課 |
| その他 | | 防災訓練2回・自然災害訓練2回 | 防災委員会主催 |

(4)内部コミュニケーション(委員会・会議)

| 委員会・会議 | 開催日 | 活動内容・今年度の重点活動目標 | |
|--------|---------------|-----------------|---|
| 委員会 | 事故対策検討委員会 | 第1月曜日 | 事故対策についての検討・対応・周知、事故・インシデントの統計分析 |
| | 感染症対策委員会 | 第1水曜日 | 感染症対策研修(年2回)の企画と実施、マニュアルの見直し等 |
| | 褥瘡対策委員会 | 第1水曜日 | 褥瘡についての検討・対応、褥瘡についての勉強会の企画・実施 |
| | 排泄検討委員会 | 第1水曜日 | 排泄ケア勉強会の企画・実施、入居者にあわせたケアと用品選定 |
| | 虐待防止委員会 | 第2月曜日 | 虐待防止についての検討、研修の企画・実施 |
| | 身体拘束廃止委員会 | 第2月曜日 | 身体拘束ゼロについての検討、啓蒙活動(研修) 例外三原則の対象者についてのみ検討を行う |
| | こやまケア委員会 | 第2月曜日 | ケアに関する啓蒙活動・研修企画、顧客アンケートの実施 チームケア学会の準備、介護技術の伝達および職員の実施のチェック |
| | 給食委員会 | 第2火曜日 | 食事提供に関する全般 |
| | 行事 HOP-HOP委員会 | 第2火曜日 | 年間の施設行事の企画と運営 |
| | 防災委員会 | 第4月曜日 | 防災訓練の計画と実施、防災に関する啓蒙活動 |
| | 衛生委員会 | 月1回 | 職員・利用者の健康について産業医との情報共有 |
| | 研修委員会 | 第4日曜日 | 内部・外部研修の計画・実施の検討、伝達研修の周知徹底 |
| | 接遇委員会 | 第3土曜日 | 接遇研修についての現状把握と毎月の具体的な接遇目標についての検討 |
| | 苦情対策検討委員会 | 適宜 | 要望・苦情に基づくサービス改善の検討 |
| | | | |
| | | | |

| | | | |
|----|---------------|--------|---|
| 会議 | 職員会議 | 第1月曜日 | 施設運営全般に関する事、経営基本会議の内容伝達 |
| | フロア会議(健康管理会議) | 各階 月1回 | フロア毎の入居者に関する事、業務に関する事 入院者を減らすための取り組みについて |
| | 定例ミーティング | 毎週月曜日 | 役職者による運営・施設課題について |
| | 看取りプロジェクト | 適時 | マニュアルの見直し。研修開催。 |
| | 育成・教育プロジェクト | 第4土曜日 | 入職者に対する研修・育成について |

2023 年度

墨田区 なりひらホーム
拠点別 事業計画

作成者 施設長 小林 堅一郎

1:現状の課題(内部要因・外部要因)ならびに今後における方向性について

2021年度に引き続き2022年度も職員の離職率軽減と定着率の向上が図られている。2023年度は役職者のスキルアップと各事業所の適正配置が必要であり、7事業を行う複合施設において施設全体のサービスの質の向上が引き続きの課題となっている。特に収支赤字となっている通所、訪問介護事業所については稼働向上が急務であり、役職者を含めた職員の育成も同時に行っていく。地域包括、みまもりについては2022年の管理者変更から今年度はセンター長についても交代となる。これにより職員体制が整ったことで、業務のシステム化と入職者の育成強化に取り組む。燃料費等の価格高騰による収支悪化の改善として光熱費に対する経費削減が必須であり、前述した通所と訪問の稼働向上と共になりひらホームの大きな課題として取り組んでいく。さらにアフターコロナへの対応と共に2024年度の介護保険大幅改定が控えており、特に在宅サービスの改定に対する準備が今年度から必要となる。

2:施設重点目標(法人事業計画に基づく各拠点の活動方針)

(1)定性目標(状態目標・水準目標・活動目標・結果目標)

①お客様アセスメントの個別ケアの充実

ICTの活用による医療、介護の連携強化による従来型多床室の特徴を生かしたケアの充実。看取りケアにおいてはお客様と医療、看護、介護の意思疎通と連携強化を図り、入居者様とご家族が安心、安全に過ごせる環境づくりを行う。在宅サービスにおけるDXの推進と重度化への対応。

②行政、地域との連携、情報共有による開かれた施設の再開

ご利用者、ご家族様、地域住民との関係性を再構築するためにボランティアの受け入れ、地域からのニーズに応えるため専門職による家族や外部へ向けた講習の実施など地域活動の拡大によりサービスの質の向上を図る。

③人材育成

各事業所、各部署へ役職者の配置体制を整えるため施設内外の管理職研修の充実を図る。リーダー、主任職によるコンプライアンスの向上と内部統制の強化。職員のジョブローションによるスキルアップと他事業所間での柔軟な職員配置。

④経費削減と在庫管理の一元化

各事業の事務費、事業費(光熱費)削減のためIoTの活用による在庫管理の効率化を図る。各事業所にて経費を可視化した仕組み作りを行い、施設(管理課)で一元管理の体制を整える。

⑤感染及び自然災害における事業継続計画

全職員に対し自然災害及び感染のBCPについて内容の理解を深め、危機管理意識の向上を図り非常災害時に職員一人一人が行動できる。

《定量目標達成の為のKPI》

- 一般DS稼働月平均800コマ、認知DS月平均180コマ達成のため訪問営業毎月120件の実施
- ロングショート待機者6名、利用者4名の確保と特養入所のリードタイムゼロを継続
- 入所+ショートの稼働98%達成のため、特養入所者の入院を月平均1.6名(50コマ)以下

(2)定量目標

①損益計画(単位:千円)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計/平均 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 売上高 | 50,287 | 51,381 | 50,515 | 51,617 | 51,709 | 50,515 | 51,617 | 50,515 | 51,617 | 51,525 | 49,227 | 51,709 | 612,234 |
| 人件費 | 31,464 | 31,298 | 31,298 | 31,298 | 31,298 | 31,298 | 31,407 | 31,407 | 31,407 | 31,407 | 31,407 | 31,462 | 376,451 |
| (人件費率) | 62.6% | 60.9% | 62.0% | 60.6% | 60.5% | 62.0% | 60.8% | 62.2% | 60.8% | 61.0% | 63.8% | 60.8% | 61.5% |
| 経費 | 19,048 | 19,497 | 18,966 | 19,173 | 19,075 | 19,435 | 19,173 | 19,331 | 19,428 | 19,199 | 19,558 | 19,775 | 231,658 |
| 経常利益 | -225 | 586 | 251 | 1,146 | 1,336 | -218 | 1,037 | -223 | 782 | 919 | -1,738 | 472 | 4,125 |

(3)目標達成計画(アクション・プラン)

| 実施時期 | (参考)サービスレベル 月別テーマ | 主な実施内容 研修企画・イベント・営業活動・その他 事業目標達成に向けた活動計画について | 実施に必要な資源等 (人材・物資・予算等) |
|------|---|--|--------------------------|
| 4月 | 車両交通安全 職業倫理を学び、福祉人としての 質を高める月間 | 新卒入職式 新卒人材育成、職業倫理研修、誕生会 | OJT、プリセプターの配置 |
| 5月 | 感染症対策 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止月間 (※新型コロナウイルス対策を含む) | BPM、営業強化月間 感染症研修、中庭菜園作り、誕生会 | 相談員の育成と営業 |
| 6月 | 防犯対策 こころと体の健康について取り組む月 間 | 消防設備説明、リスクマネジメント研修、誕生会 | 消防設備業者(都市整備)による設備説明 |
| 7月 | 事故対策 事故発生又は再発防止月間 | 在庫経費見直し ヘルスケア研修、七夕、誕生会 | 衛生用品等在庫確認 |
| 8月 | 身体拘束・虐待防止 | 防火・防災、災害対策 虐待・身体拘束防止研修、納涼祭、誕生会 | 夜間想定を含む職員避難訓練 |
| 9月 | 医療との連携 褥瘡を予防 緊急時の対応を身に付ける月間 | 内部監査、目標管理面談、人事考課 感染対策強化、看取り研修、敬老会、誕生会 | 感染物品の確認と準備 |
| 10月 | 感染症・食中毒の予防 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止強化月間 (※新型コロナウイルス対策を含む) | 水害自然災害対策 リスクマネジメント研修、運動会、誕生会 | 台風、水害を想定した地域連携 |
| 11月 | 感染症対策 (前月研修をもとに対策を報告) 事故発生又は再発防止月間 | GPM、お客様アンケート 普通救命講習、感染症研修、誕生会 | 消防による救命講習の実施 |
| 12月 | 離職防止対策 認知症の方の理解を深める月間 (高齢者虐待防止含む) | 在庫管理と経費見直し 認知症研修、クリスマス会、誕生会 | 衛生用品等在庫確認 |
| 1月 | 経費見直し 終末期を考えケアの見直しを行お う! | 採用強化月間 接遇研修、初詣、誕生会 | 人材育成、OJT、プリセプターの検討 |
| 2月 | 身体拘束・虐待防止 | 避難訓練 虐待・身体拘束防止研修、節分、誕生会 | 夜間想定を含む職員避難訓練 |
| 3月 | 接遇 接遇改善月間 | 目標管理面談、人事考課 内部監査、ひな祭り、誕生会 | |
| その他 | | 委員会整備、研修制度の構築 | |

(4)内部コミュニケーション(委員会・会議)

| | 委員会・会議 | 開催日 | 活動内容・今年度の重点活動目標 |
|-----|----------------|----------------|--|
| 委員会 | こやまケア・研修委員会 | 第2火曜日 | プレ監査の実施(年2回)、顧客満足度アンケートの実施、集計、報告、接遇研修の実施 |
| | 行事・広報委員会 | 第2火曜日 | 年間行事計画の作成、施設行事の運営、定期的なブログの更新 |
| | 感染症対策委員会 | 第2月曜日 | 感染症に対する正しい知識を周知する研修の実施、感染症予防に必要な物品類を整備する |
| | 排泄・褥瘡対策委員会 | 第2月曜日 | 多職種での評価に基づく褥瘡予防の実施、褥瘡や排せつについての正しい知識の周知、個別性のある排泄方法を実施できる仕組みづくり |
| | 虐待防止・身体拘束廃止委員会 | 第3月曜日 | 虐待防止・身体拘束の概念について理解する、虐待や身体拘束が生み出すリスク研修の実施、上期・下期に振り返りを行い、形骸化を防ぐ |
| | リスクマネジメント委員会 | 第4月曜日 | 事故対策についての検討・対応・周知、事故・インシデントの統計分析 |
| | 苦情対策検討委員会 | 第4月曜日 | 要望・苦情に基づくサービス改善の検討 |
| | 防災委員会 | 第3金曜日 | 職員の防災意識向上の啓発、防災訓練の計画と実施 |
| | 衛生委員会 | 第4木曜日 | 産業医による面接指導の実施、ワーク・ライフ・バランスの推進、年次有給休暇の取得促進 |
| | | | |
| 会議 | 所属長会議 | 毎週月曜日 | 各事業所の所属長による事業計画に基づいた運営報告 |
| | 法人施設運営会議 | 毎月一回経営基本会議前 | 法人内の各施設による月間の施設運営状況報告 |
| | 特養入所検討会議 | 年3回(7月・11月・3月) | 地域の第三者(民生委員)を含めた墨田区新規特養申込者の2次判定会議 |

2023 年度 荒川区立 サンハイム荒川
南千住中部在宅高齢者通所サービスセンター

拠点別 事業計画

作成者 施設長 大林 智憲

1:現状の課題(内部要因・外部要因)ならびに今後における方向性について

2022年度においては2期目5年の指定管理スタートの年となった。ただやはり、2022年度もコロナとともに歩むことが続く緊張の1年を脱することはなかった。特養ではコロナにおいては第7波、8波とクラスターを3度経験することとなり、稼働減、経費増により収支が厳しくなった。またそれに加えて物価高騰、特に水光熱費の負担が増大し経営への影響は免れなかった。今後についても克服すべき課題として残る。しかし特養は年度途中より6か月をかけての荒川区による全館空調工事を同時に進行させ、無事工事終了となったことについての施設運用は評価されたい事項の一つとして挙げる。

コロナにより制限するもの(イベントや面会)や必要となるもの(感染対策物品等)を適宜取り入れての事業運営となることは今後も続いていくが、今度こそそのアフターコロナにおける適切な取り組みが、社会より要求されていくことはいまでもない。コロナを理由に福祉施設だからといって閉鎖的な守り重視では不信感を招きかねず、『選ばれる施設』を目指す本来の姿勢は別にある。特養3床増床分と日常生活継続支援加算による収益安定については継続としつつ、前述の選ばれる施設として音楽療法サービスの展開を企図している。特養・中部デイ・包括イベント・来食サービス等様々なサービスに横断的に行えるサービスとしての人員をあらたに迎えて、すべてのお客様のQOL向上と職員の融合をこれで図っていききたい。

専門職が円熟期を迎えており、逞しさがある反面、運用にマンネリが発生しない様施設長が「話を聞く丁寧なやりとり」、「報告・相談・連絡したいときに施いつでも連絡できる」当たり前のことを継続し、指示系統の整備と組織強化を図り法人内でも頼られる施設として存在をしたい。引き続き介護職員の安定充足は困難を極めている。新入職員の育成に悩み、中途職員の定着に課題を残している。在職中のベテラン職員に業務が集中するという課題があるが、小まめな面談により心身状況とモチベーションを把握、個人に合った目標設定や負担軽減に取り組みコロナ明けの安定感を出していききたい。

2:施設重点目標(法人事業計画に基づく各拠点の活動方針)

(1)定性目標(状態目標・水準目標・活動目標・結果目標)

(1)サービスの質の向上

計画的な研修をオンライン・リアル両側面を実施し、職員一人一人が目的をもって業務できるよう、自主的な企画立案やフォローの仕組みを構築。音楽療法サービスにて、余暇・リハビリ両方で活性化。

介護サービスの質の向上に努める。

(2)年間イベント及びフロア企画(行事等)

感染対策を行ったうえで季節感を感じるイベントを工夫して積極的に開催できるようにする。

ご家族・地域住民・行政等にも参加を促し、開かれた施設として交流を深めるよう働きかける。

(3)在宅と施設連携の強化

通所、地域包括、高齢者見守りステーションが施設外にあるため、連携を強化して「地域に暮らす在宅高齢者からの相談と見守り、介護予防、要介護者、入所対応、看取りまでを一貫して対応できるサンハイム版の地域包括ケアシステム」として地域福祉に貢献する。

(4)BCP「事業継続計画」の策定

事業存続を脅かすあらゆる不可避な事態を想定しマネジメントをおこなう。(地震・水害・感染等)

従業員や地域住民の人命を守る「建物や設備を守る」要素を含み地域の防災への役割も果たしていく。

(5)次世代介護に向けてのDX化

デジタル機器を活用し業務負担を軽減できる機器導入の推進。リモートでの業務の活用、事故の検証に即時

《定量目標達成の為のKPI》

1.ロングショート入所者5名・・・退所から入所までのリードタイムゼロの継続

2.ロングショート待機者3名・・・ロングショートの本入所・入院等による稼働低下リスクを担保
(ロングショート入所者及び待機者とは入退所審査会完了者)

3.実態調査の予約3名確保・・・ロングショート待機者のSS入所リードタイムゼロ

4.ミドル利用のショート(ロングショートの待機の待機)顧客2名

(2)定量目標

①損益計画(単位:千円)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 売上高 | 43,624 | 44,991 | 44,212 | 45,120 | 45,411 | 44,919 | 46,027 | 45,230 | 45,452 | 45,287 | 43,830 | 46,263 | 540,366 |
| 人件費 | 28,970 | 29,440 | 29,419 | 29,734 | 28,641 | 28,917 | 28,951 | 28,951 | 28,951 | 28,951 | 28,951 | 29,015 | 348,885 |
| (人件費率) | 66.4% | 65.4% | 66.5% | 65.9% | 63.1% | 64.4% | 62.9% | 64.0% | 63.7% | 63.9% | 66.1% | 62.7% | 64.6% |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 經費 | 17,436 | 14,831 | 14,229 | 14,439 | 15,292 | 14,419 | 15,239 | 14,632 | 14,734 | 14,275 | 15,040 | 14,439 | 179,005 |
| 經常利益 | -2,782 | 721 | 565 | 948 | 1,479 | 1,584 | 1,838 | 1,648 | 1,768 | 2,062 | -161 | 2,810 | 12,476 |

(3)目標達成計画(アクション・プラン)

| 実施時期 | (参考)サービスレベル 月別テーマ | 主な実施内容 研修企画・イベント・営業活動・その他 事業目標達成に向けた活動計画について | 実施に必要な資源等 (人材・物資・予算等) |
|------|-----------------------|--|--------------------------------------|
| 4月 | 車両交通安全 職業倫理 | 車両取り扱い研修開催・交通安全研修開催 携帯電話等個人情報の管理・モラル研修 | 車両 |
| 5月 | 感染症対策 | 感染症対策の実効性を検証し、感染症から施設を守る取 り組みを実施 | コロナ対策会議・スタンダードプリコーショ ン、ワクチン接種について |
| 6月 | 防犯対策 こころと体の健康 | ・防犯研修 ・ストレスチェック | ・防犯用品 ・ストレスチェック表 |
| 7月 | 事故対策 事故発生又は再発防止 | マニュアルの見直しを行う。事故要因の分析をチームで 行い再発防止に努める | 事故対策委員会 |
| 8月 | 身体拘束・虐待防止 | マニュアルの見直しを行う。事故要因の分析をチームで 行い再発防止に努める | 身体拘束廃止委員会 |
| 9月 | 医療との連携 | 褥瘡を予防 緊急時の対応を身に付ける月間 | 褥瘡予防委員会 |
| 10月 | 感染症・食中毒の予防 | 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止強化月間 (※新型コロナウイルス対策を含む) | 感染症委員会 |
| 11月 | 感染症対策 事故発生又は再発防止 | 前月研修を基に対策を報告 事故要因の分析をチームで行い再発防止に努める | コロナ、インフルエンザ等の経過、対策 |
| 12月 | 経費見直し 認知症の方の理解を深める | 試用物品棚卸作業 コスト管理作業 認知症の方への私たちの接し方を考える | |
| 1月 | 離職防止対策 看取りケア | 入職研修0JT振り返り・中途入職者振り返り 看取りケアの事例検討 | |
| 2月 | 身体拘束・虐待防止 | 現場の不適切ケアを見直し、改善につなげる 不適切ケアアンケート | 身体拘束廃止委員会 アンケート |
| 3月 | 接遇 | 接遇改善に取り組むことで、安心して生活できる環境と 利用者との信頼感を高めていく為の研修 | |
| その他 | | 営業活動、LSSの適正数検討を随時行っていく | |

(4)内部コミュニケーション(委員会・会議)

| | 委員会・会議 | 開催日 | 活動内容・今年度の重点活動目標 |
|-----|--------------|--------|--|
| 委員会 | 事故防止委員会 | 第2週金曜日 | 事故対策についての検討・対応・周知、事故・インシデントの統計分析 |
| | 苦情対策検討委員会 | 第3週金曜日 | 苦情があった時に、即時に対応・処理を実施 双方解決が困難の場合は、第三者委員の仲介を依頼する 一連の苦情について今後の対策を検討 |
| | 感染症対策委員会 | 第1週金曜日 | 感染症に対する正しい知識を周知する研修の実施、感染症マニュアルの見直しと 適正適用、感染症予防に必要な物品類を整備する、感染発生時の迅速対応 |
| | 身体拘束廃止委員会 | 第3週金曜日 | 身体拘束ゼロについての検討、啓蒙活動(研修) 例外三原則の対象者についてのみ検討を行う |
| | 虐待防止委員会 | 第3週金曜日 | 虐待防止研修の実施、その他予防活動 |
| | 褥瘡対策委員会 | 第3週金曜日 | 多職種での評価に基づく褥瘡予防の実施、褥瘡や排せつについての正しい知識の 周知 |
| | 給食委員会 | 第1週金曜日 | 給食に関する全般 各フロア内キッチン及び冷蔵庫の定期チェック |
| | こやまケア・ISO委員会 | 第1週金曜日 | ケアに関する啓蒙活動・研修企画、顧客アンケートの実施 チームケア学会の準備、介護技術の伝達および職員の実施のチェック 年間の内部研修予定の作成、掲示 |
| | 防災委員会 | 第4週金曜日 | 職員の防災意識向上の啓発、防災訓練の計画と実施 |
| | 広報委員会 | 第4週金曜日 | 月1回の施設広報誌「サンハイム通信」の記事作成と写真撮影 定期的なブログの更新 |
| | 衛生委員会 | 第4週火曜日 | 事業場の労働環境や職員の健康保持に関する検討 健康診断、ストレスチェックの準備及び対応 |
| 会議 | 運営会議 | 第4週火曜日 | 南千住全事業所の運営についての最高意思決定機関 |
| | 特養会議 | 第3週金曜日 | 特養部署全体での運用ミーティング、情報共有 |
| | フロア会議 | 随時 | 特養 2F・3Fフロアの運用ミーティング、情報共有 |
| | サービス担当者会議 | 随時 | ケアマネジメントを軸にしてのお客様カンファレンス |

2023 年度

渋谷区 恵比寿西複合施設
拠点別 事業計画

作成者

中村美智江

1:現状の課題(内部要因・外部要因)ならびに今後における方向性について

GHにおいては入居率の安定が図られるようになったが、看護小規模多機能においては、現在目標登録者に届かない状況が続いており、23年度も営業からサービスの質の向上に向けて、力強く進めていく必要がある。営業戦略を立て、ポスティング、電話、訪問営業を継続し、渋谷区、渋谷区内の医療機関、居宅や地域包括、介護事業所との連携をすすめているが、現在(23年3月)登録数11名となっている。

2:施設重点目標(法人事業計画に基づく各拠点の活動方針)

(1)定性目標(状態目標・水準目標・活動目標・結果目標)

看多機(29名定員、通い15名、宿泊5名)にGH(2ユニット18名)を併設しており、渋谷区南エリアの在宅系のサービス拠点事業所となる。この環境下で地域ニーズに合ったスピーディかつ、柔軟なサービスの提供が求められているため、大病院や在宅診療、地域包括、居宅介護支援事業所との連携により深く信頼されるサービスの提供が可能となるよう事業展開をする。

《定量目標達成の為のKPI》

看多機:29名の早期契約、GH:年間平均96%の入居率を達成し、18名満床を継続する。

(2)定量目標

①損益計画(単位:千円)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 売上高 | 11,892 | 12,740 | 13,189 | 14,071 | 14,374 | 14,457 | 14,970 | 15,075 | 15,556 | 15,819 | 15,553 | 16,134 | 173,830 |
| 人件費 | 10,331 | 10,331 | 10,746 | 10,922 | 10,922 | 10,922 | 10,922 | 10,922 | 11,161 | 10,922 | 10,922 | 10,934 | 129,957 |
| (人件費率) | 86.9% | 81.1% | 81.5% | 77.6% | 76.0% | 75.5% | 73.0% | 72.5% | 71.7% | 69.0% | 70.2% | 67.8% | 74.8% |
| 経費 | 5,882 | 5,818 | 5,100 | 5,291 | 5,331 | 5,315 | 5,449 | 5,187 | 5,399 | 5,406 | 5,342 | 5,177 | 64,697 |
| 経常利益 | -2,077 | -1,255 | -1,004 | -498 | -500 | -298 | 644 | 628 | 648 | 1,170 | 768 | 1,793 | 19 |

(3)目標達成計画(アクション・プラン)

| 実施時期 | (参考)サービスレベル 月別テーマ | 主な実施内容 研修企画・イベント・営業活動・その他 事業目標達成に向けた活動計画について | 実施に必要な資源等 (人材・物資・予算等) |
|------|----------------------|---|--------------------------|
| 4月 | 車両交通安全 | 送迎について、安全に移送するためのドライバー・職員の教育 | |
| 5月 | 感染症対策 | 全職員対象に「食中毒の予防」について内部研修(2日間)で実施 | 感染症委員会主催 |
| 6月 | 防犯対策 | 不審者対応・戸締り方法やキーロックの見直し | |
| 7月 | 事故対策 | 全職員対象に事故の再発防止について内部研修(2日間)で実施 | 事故防止マニュアル |
| 8月 | 身体拘束・虐待防止 | 自分のケアを振り返り、高齢者に対する適切なケアについて内部研修で実施 | こやまケア委員会主催 |
| 9月 | 医療との連携 | 緊急時や看取り時の対応や知識を身に付ける | マニュアルの見直し・訪問診療医や消防署に協力依頼 |
| 10月 | 感染症・食中毒の予防 | 感染症について内部研修(2日間)で実施 | 感染症委員会主催 |
| 11月 | 感染症対策(前月研修をもとに対策を報告) | 感染状況についての対策の報告 | |
| 12月 | 離職防止対策 | ストレスマネジメント。ストレス発散について学び、健康で職務につける様バックアップ。コンプライアンス研修 | |
| 1月 | 経費見直し | 自施設におけるランニングコストを共有・理解する | 管理部 |
| 2月 | 身体拘束・虐待防止 | 全職員対象に身体拘束・虐待防止について内部研修(2日間)で実施 | こやまケア委員会主催 |
| 3月 | 接遇 | 全職員対象に接遇について内部研修(2日間)で実施 | こやまケア委員会主催 |
| その他 | | 防災訓練2回 | |

(4)内部コミュニケーション(委員会・会議)

| 委員会・会議 | | 開催日 | 活動内容・今年度の重点活動目標 |
|--------|-----------|--------|---------------------------------|
| 委員会 | 部署会議 | 第1週月曜日 | 利用者・稼働率・運営会議の情報共有 |
| 会議 | ケアカンファレンス | 第1週月曜日 | 介護計画書(ケアプラン)作成におけるレビュー・検証・妥当性確認 |
| | 事故カンファレンス | 適宜 | 事故発生後の原因の特定・対応策の検討・対策後の有効性評価 |

2023 年度 千代田区いきいきプラザ一番町 拠点別 事業計画

作成者

石若勇

1:現状の課題(内部要因・外部要因)ならびに今後における方向性について

2023年度より、新たに当法人が千代田区から指定管理受託法人として選定を受け新規事業としてスタートします。この千代田区いきいきプラザ一番町のもつ役割、複合施設としての特色を十分に理解活用し、「特別養護老人ホーム」「居宅サービス」「区民施設事業」を効果的に運営推進していくことを目指していくとともに、介護保険制度のもと、「ご本人の立場に立った真心を込めたサービス」を提供できるように職員一丸となり、施設介護事業を展開していきます。

2:施設重点目標(法人事業計画に基づく各拠点の活動方針)

(1)定性目標(状態目標・水準目標・活動目標・結果目標)

①お客様アセスメントの個別ケアの充実

従来型多床室の特徴を生かした個別ケアの提供と常勤医師の配置体制を活かした医療対応の充実。協力医療機関との連携や、看取りケアにおいてはお客様と医療、看護、介護の意思疎通と連携強化を図り、入居者様とご家族が安心、安全に過ごせる環境づくりを行う。

②お客様目線での行事・イベントの実施

引き続き感染対策を踏まえた行事・イベントの実施と年間活動計画を基に、ご家族やお客様の意見を取り入れた企画の立案。行事、イベントについても個別対応を実施することで、お客様満足度の向上を図り、家族懇談会の開催を実施していく。

③人材育成

各事業所、各部署へ係長職以上の配置体制を整えるため施設内外の管理職研修の充実を図る。リーダー、主任職によるコンプライアンスの向上と内部統制の強化。新卒、中途採用者に対するOJTと人材育成の充実を図っていく。

④適切な経費コントロールを実践する

高齢施設、区民施設双方の適切な経費管理を行うため、毎月の月次予測に着目し、予算に合わせた経費管理を各事業所にて行う体制を整える。

⑤地域交流

区民施設のポテンシャルを活かし、防災、福祉の地域交流拠点となるよう活動をすすめていく。

(2)定量目標

①損益計画(単位:千円)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計/平均 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 売上高 | 65,905 | 67,050 | 65,623 | 66,796 | 67,181 | 65,748 | 66,922 | 65,831 | 67,034 | 67,466 | 64,586 | 67,226 | 797,368 |
| 人件費 | 28,735 | 28,634 | 28,535 | 28,439 | 28,346 | 28,255 | 28,165 | 28,079 | 27,993 | 27,910 | 27,828 | 27,746 | 338,665 |
| (人件費率) | 43.6% | 42.7% | 43.5% | 42.6% | 42.2% | 43.0% | 42.1% | 42.7% | 41.8% | 41.4% | 43.1% | 41.3% | 42.5% |
| 経費 | 38,914 | 36,844 | 36,949 | 36,833 | 36,851 | 37,548 | 36,838 | 37,252 | 36,842 | 36,860 | 36,617 | 38,028 | 446,370 |
| 経常利益 | -1,744 | 1,573 | 140 | 1,525 | 1,985 | -55 | 1,920 | 501 | 2,200 | 2,697 | 142 | 1,453 | 12,333 |

(3)目標達成計画(アクション・プラン)

| 実施時期 | (参考)サービスレベル 月別テーマ | 主な実施内容 研修企画・イベント・営業活動・その他 事業目標達成に向けた活動計画について | 実施に必要な資源等 (人材・物資・予算等) |
|------|----------------------|--|---|
| 4月 | 車両交通安全 | 職業倫理を学び、福祉人としての質を高める月間 | 携帯電話やタブレットなど個人情報の管理や、社会人としてのモラルの向上を目指す |
| 5月 | 感染症対策 | 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止月間 (※新型コロナウイルス対策を含む) | スタンダードプリコーションを基に、感染予防の基本を学び実践できる |
| 6月 | 防犯対策 | こころと体の健康について取り組む月間 | こころと体の健康についてテーマを決め実践できる |
| 7月 | 事故対策 | 事故発生又は再発防止月間 | マニュアルの見直しを行う。事故要因の分析をチームで行い再発防止に努める |
| 8月 | 身体拘束・虐待防止 | 身体拘束・虐待防止月間 | マニュアルの見直しを行う。虐待に対するの自己チェックを行い、ケアの振り返りを行う |
| 9月 | 医療との連携 | 褥瘡を予防 緊急時の対応を身に付ける月間 | 褥瘡や緊急時の対応など医療的な知識を身に付ける |
| 10月 | 感染症・食中毒の予防 | (チームケア学会) | |
| 11月 | 感染症対策(前月研修をもとに対策を報告) | 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止強化月間 (※新型コロナウイルス対策を含む) | インフルエンザ、ノロウイルスを100%予防するため、全員で防げる予防策を再確認する |
| 12月 | 離職防止対策 | 認知症の方の理解を深める月間 (高齢者虐待防止含む) | 認知症の方が安心して生活できる様に、私たちの接し方を考える |
| 1月 | 経費見直し | 終末期を考えケアの見直しを行おう! | 看取りの事例を基に、最期の関わりを見直しこれからの看取りに活かすことができる |
| 2月 | 身体拘束・虐待防止 | 身体拘束・虐待防止月間 | 現場の不適切ケアを見直し、改善につなげる |
| 3月 | 接遇 | 接遇改善月間 | 接遇改善に取り組むことで、安心して生活できる環境と利用者との信頼感を高めていく |
| その他 | | 委員会整備、研修制度の構築、自然災害訓練、防災訓練 | |

(4)内部コミュニケーション(委員会・会議)

| | 委員会・会議 | 開催日 | 活動内容・今年度の重点活動目標 |
|-----|----------------|-------------|--|
| 委員会 | こやまケア・研修委員会 | 第1月曜日 | プレ監査の実施(年2回)、顧客満足度アンケートの実施、集計、報告、接遇研修の実施 |
| | 行事・広報委員会 | 第1月曜日 | 年間行事計画の作成、施設行事の運営、定期的なブログの更新 |
| | 感染症対策委員会 | 第2月曜日 | 感染症に対する正しい知識を周知する研修の実施、感染症予防に必要な物品類を整備する |
| | 排泄・褥瘡対策委員会 | 第2月曜日 | 多職種での評価に基づく褥瘡予防の実施、褥瘡や排せつについての正しい知識の周知、個別性のある排泄方法を実施できる仕組みづくり |
| | 虐待防止・身体拘束廃止委員会 | 第3月曜日 | 虐待防止・身体拘束の概念について理解する、虐待や身体拘束が生み出すリスク研修の実施、上期・下期に振り返りを行い、形骸化を防ぐ |
| | リスクマネジメント委員会 | 第4月曜日 | 事故対策についての検討・対応・周知、事故・インシデントの統計分析 |
| | 苦情対策検討委員会 | 第4月曜日 | 要望・苦情に基づくサービス改善の検討 |
| | 防災委員会 | 第3金曜日 | 職員の防災意識向上の啓発、防災訓練の計画と実施 |
| | 衛生委員会 | 第3金曜日 | 産業医による面接指導の実施、ワーク・ライフ・バランスの推進、年次有給休暇の取得促進 |
| 会議 | 所属長会議 | 毎週月曜日 | 各事業所の所属長による事業計画に基づいた運営報告 |
| | 法人施設運営会議 | 毎月一回経営基本会議前 | 法人内の各施設による月間の施設運営状況報告 |
| | 特養入所検討会議 | | 千代田区サービス推進協議会の開催日程に合わせて参加 |